



新実 徳英さん

＜戦争と愛をうたう＞—混声合唱とピアノのための—
あの人は彼方（詞 栗原 寛）
戦争の四年目（詩 ヘルマン・ヘッセ 訳詞 / 角田 英一）
帰還（詩 竹内 浩三）

昨年の第 86 回定期演奏会で初演した新実徳英さん作曲の「戦争と愛のバラードの」改定版です。今回新たな詩による2曲、「あの人は彼方」は栗原寛さんによる書下ろしの詞で恋人たちの愛を引き裂いた戦争の不条理を描きます。「帰還」の詩は 23 歳でフィリピンにおいて戦死した詩人竹内浩三によるものです。そして2曲目の「戦争の4年目」は、ドイツを代表する詩人・作家ヘルマン・ヘッセの詩をもとに曲がつけられました。

合唱組曲「クウネルワラウ死ぬまで生きる」

- 1章 天★オスリッパー—こどもも大人も自分で考えるアトリエのお話
- 2章 メバランド—虹色トランスジェンダーのお話
- 3章 夢の手前で—難民生活を 18 年つづける女性のお話と難民支援する女性のお話
- 4章 帰り道—障害のあるこどものお母さんたちのお話とこどもの人たちのお話
- 5章 経験と免疫—保健所で働く保健師のお話
- エピローグ クウネルワラウ死ぬまで生きる

この合唱組曲は、多様な生き方が認められ、誰もが生きやすい社会を願って制作しました。残念ながら日本の社会は、「違い」を抱えた人が自分らしく生きていくには様々な困難があります。そんな中で「生きづらさ」を抱えた人に寄り添える社会、みんなが自分らしく笑い合っていて生きていける社会を願ってこの曲を作りたいと考えました。歌詞は、詩人の上田假奈代さんがトランスジェンダー（割り当てられた性と性自認が一致しない人）、外国人難民とその支援者、青少年の居場所づくり、障害者とその家族、コロナ禍の保健所職員の方々に聞き取りをして作っていただきました。作曲は長森かおるさんと安広真理さんのお二人で一つの組曲としてつくっていただいたものです。

混声合唱のためのメドレー「新大陸縦断紀行」

世界各国の国歌や愛唱歌＜アンセム＞を歌い継いでいく「山田和樹アンセム混声合唱プロジェクト」の企画として信長貴富が編曲した7つのメドレーの一つです。アメリカ大陸5カ国の6曲のメドレーで各国の歴史や風土が味わえるドラマが楽しめます。

《レガータ》

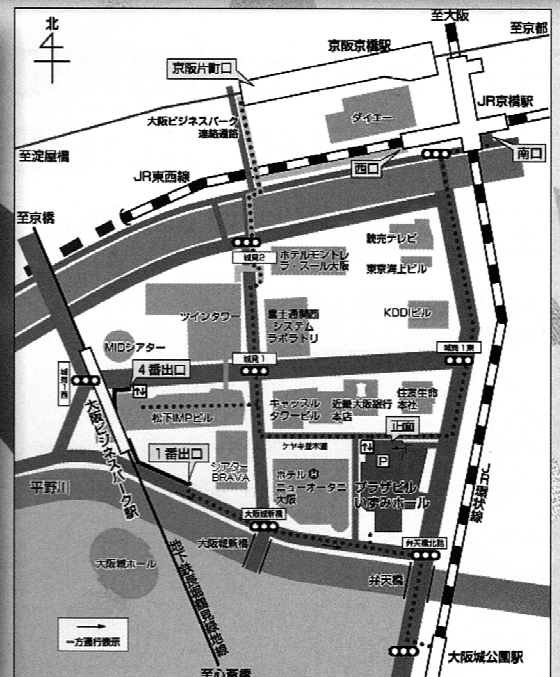
関西合唱団主婦班をもとに生まれた来年創立 50 年になる女声合唱団です。被爆詩人峠三吉の詩に外山雄三が曲をつけた「墓標」とミュージカルメドレーから「Think of me」、「Dancing Queen」などを演奏します。

《関西合唱団 60 周年記念合唱団》

2008 年の関西合唱団創立 60 周年記念演奏会を契機に誕生しました。日本のうたごえ運動初期に芥川也寸志に委嘱して創られた組曲「砂川」を演奏します。

《青年と一緒に》

Mrs.GREEN APPLE、“うたごえ” およびジョンレノンの3曲を青年とともに歌います。



大阪市中央区城見 1-4-70 住友生命OBPプラザビル
TEL 06-6944-2828 (代表)

●JR環状線「大阪城公園」駅出口より線路沿いに京橋方面へ徒歩約3分
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅1番出口より川沿いを東へ徒歩約5分

※駐車場はビル地下にあります。(有料)